

オンラインセミナー

汚泥肥料の利用と課題

主催：「食のミカタ」コンソーシアム

(戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」)



講師：山口亮子

(ジャーナリスト、株式会社ウロ 代表取締役)

「汚泥肥料」は、名称に伴うイメージの悪さと、重金属が含まれるのではないかと不安等から、活用が十分に進んできませんでした。都市で出た糞尿を農村へ運ぶ「汚穢列車」は戦後も活躍していて、有効利用が途絶えたのは比較的最近のことです。

下水汚泥を肥やしにする方法はいくつかあります。しかし、重金属を排除する必要性や、都市住民が臭気にうるさいことなどから、発生源となる都市部ほど肥料化が見送られたり、高コストな処理方法が取られたりしがちです。汚泥肥料の利用の現状と課題を解説します。

2024年

9月19日 (木) 15:00~16:30

オンラインZoomミーティング

(受講料無料 先着300名 申込み後にURLをご案内します)



参加申込はこちらから

←QRコードからも申込できます



問合せ先：大阪公立大学 小泉望 nkoizumi@omu.ac.jp